これまでの西京まちづくり区民会議（H29～30 開催） における意見の整理

■ だれもがいきいきと暮らせるまちづくりの推進と地域コミュニティの活性化

○人権

（現状・課題）

- ・ 「男女、高齢者に関わらず皆がそれぞれ働く時代」であることや「近年の社会情勢として、世帯主の収入だけでは生活が厳しい面もある」、「社会人として現役で働いていた女性が出産で退職した後、改めて働きだすことに違和感を覚える可能性がある」という意見がみられた。

（提案・アイデア）

暮らし

- ・ 「イベントでの参加しやすさに対する配慮」「新庁舎に暮らしの相談ができる窓口の設置（高齢者の住宅相談、不動産や工務店の相談）」
- ・ 「住みやすく働きやすいイメージを踏まえたキャッチコピー」

就業支援

- ・ 「就業に向けた体験の場づくり（柿の農業体験、筍掘りの体験など）」
- ・ 「区内の求人情報が学区ごとにわかる仕組み（例：山科での補助金事業）」
- ・ 「子供を連れて気軽に働ける場所づくり」「子育て中の女性が短時間でも働ける環境」「高齢者が働ける場所」

○コミュニティ

（現状・課題）

- ・ まちづくり活動においては、「西京塾等、まちづくり活動団体がある（古墳、大きな木等のテーマで勉強会をしている）」「桂ヴィレッジフェス等は参加者から出店料を徴収し、一生懸命運営している」等、区民のまちづくり団体が活発に活動している。
- ・ 一方で、「野生鳥獣を撃退している猟友会のメンバーが高齢化してきており、なり手も少ない」等、担い手の人材不足に関する指摘や「もっと自治会へ加入してほしい」等の自治会への参加促進を求める声、「サークル活動を事業化する上では、考えの違いから抜けていくメンバーがいる等難しさもある」等の活動の継続・ステップアップの難しさという課題を挙げる団体もみられた。
- ・ 「公園に子どもが少ない」「現在の庁舎に市民活動ができる施設・スペースが少ない」等の交流やコミュニティの拠点が少ない、という指摘がみられた。
- ・ 上記の現状把握や指摘を踏まえ、コミュニティの存在が、外出する契機となり健康づくりに寄与することや、安心安全なまちに繋がるといった効果が期待されている。

（提案・アイデア）

まちづくり活動

- ・ 「一つのテーマを掘り下げる〇〇塾」の開催

- 「地域を巡ってお互いの親密さを増すイベントの実施（例：まちあるき）」「人と人がつながれるイベントや活動の継続的な実施（例：地蔵盆）」

行政に期待する役割

- 「人と活動をつなぐコーディネートが必要」「行政は活動を支援し、やる気を継続させるべき」

起業支援

- 「起業の希望者が互いに交流・協働できるスペースの整備」「新庁舎に、Wi-Fi やコンセント等が充実したコワーキングスペースのような会議室の設置」
- 「アイデアを形にしていくための起業支援（例：適切なアドバイスができる相談窓口の設置、兼業しやすい仕組み）」「託児付き創業・起業のセミナーや出前講座」

交流拠点・活動拠点

- 「公園を地域の交流拠点化」「新庁舎に、地域の団体が集まって話し合いができる会議室や市民交流スペースを」「新庁舎に、まちづくりスペースを充実させ、区役所をまちづくりの一大拠点とする」
- 「高齢者と子どもが交流できる居場所づくり」「父親も過ごすことができる場づくり」
- 「自己実現の場として、それぞれ得意なことができる場づくり」「現在就業していない人が集まってそれぞれのスキルを活かしてできることを考えていく場づくり」

○区民参加

（現状・課題）

- 「洛西には元気な高齢者が多いが、活動にどのように参加すればよいのかわからず何もしていない人も多いのでは」「高齢者が増加しているが、退職された方でも元気でやる気のある方が多い」等、まちづくりの人材として元気な高齢者に対する期待がみられた。
- 「地域住民の作品を展示できるような場が少ない（イオンやウエスティは使用料が高額）」等、区民の活動を対外的に発表する場所に対する意見がみられた。

（提案・アイデア）

人材

- 「地域の役員の負担にならないようにする」「人材バンク」

区民の活動の発表・展示の場

- 「新庁舎のロビーの活用（市民ギャラリー等の展示スペース、コンサートやフリーマーケット、特産品の販売、作業所等）、情報発信の場として、オープンロビーや庁舎の壁等の有効活用」
- 「新庁舎に、芸大や地域の方が活動できるような場所、区民が自由に閲覧できる資料や図書のある資料スペース」

○地域福祉

（現状・課題）

- 高齢者や障害者が能力を発揮できるような機会・場所づくりを地域でつくっていくことや地域と医療機関等の連携が重要であるという意見がみられた。

(提案・アイデア)

- ・ 「官民が協働しセミナーや相談会の実施（例：不動産業の一環としてのセミナー・相談会）」
- ・ 「地域を回る移動販売をおこなうことによる雇用創出，買い物弱者への支援」
- ・ 「農業への参加を通じた健康づくりの取組」

○子育て

(現状・課題)

- ・ 子育てにおける行政との連携に関して、「子育て中の母親の交流に関する取組を地域で運営することは難しい」や「支所 1 階の木の子育て支援スペースが好評」という意見がみられた。
- ・ 子育て環境の整備事例として、「新林学区での子育てサークルが，母親同士の友達作りを目的に，新林学区外の親子も受け入れながら運営していること」や「幼稚園と小学校が同敷地・隣接敷地に位置し，異世代交流を実施している」等の事例があげられた。
- ・ 地域における子育てにおいて、「子ども自身が習い事等で忙しくなっていること」や「イベント参加には保護者の同意が必要である」等，イベントへの参加につながりづらい点が指摘された。

(提案・アイデア)

- ・ 「行政による子育て中の母親に向けた交流の場の提供・運営」「新庁舎に，子どもの遊び場やチャイルドルームの設置，授乳室の設置」「空き家を利用した子育てサークル」
- ・ 「学校や子供たちのためのイベント実施，子供の居場所づくり」「保育園の設置」「病児保育に関する施策の充実」「子育て世代の方の居場所づくり（例：公会堂）」

○高齢者福祉，障害者福祉

(現状・課題)

- ・ 「認知症への対策」や「発達障害に対する支援」，「健康長寿の取組」等が重要であるという意見が見られた。
- ・ 「地域活動やボランティア活動へ参加することにより，生きがいを感じるができる」という意見が見られた。

(提案・アイデア)

- ・ 「健康長寿に関する区主催の啓発イベント」「新庁舎に，自転車や車いすが置ける場所」
- ・ 「高齢化に伴う在宅介護等の就業機会の創出」

○医療・健康

(現状・課題)

- ・ 健康づくりの観点から「地域活動への積極的な参加」や「食育」，「健康長寿における啓発活動や取り組み」等が重要であるという意見が見られた。
- ・ 地域での健康づくりに取り組んでいく上では，「地域のニーズ」や「地域住民の不安」等について把握することが重要であるという意見が見られた。

(提案・アイデア)

- 「学区等の小さな単位で健康広場の実施」「日常的に自分の健康状態をチェックできる場づくり」
- 「在宅医療に関わる地域の医師とまちづくりが連携した取り組み」
- 「子どもや若者世代に対する健康長寿の啓発活動」

○教育

(現状・課題)

- 「教育環境の整備が、移住促進につながる」等の意見が見られた。

(提案・アイデア)

- 「子どもたちが歴史・文化に親しむイベントの実施(例：神社仏閣を巡るスタンプラリー)」
- 「近所の大人と子どもと一緒に活動し、生活の知恵を伝える」

○安心・安全

(現状・課題)

- 「子どもの見守り活動の高齢化」といった意見が見られた。

(提案・アイデア)

- 「子どもの見守り活動への若い世代の参加」「声かけや挨拶のできるまちづくりを進める」
- 「安全な遊具の設置」

○商業・工業

(現状・課題)

- 「用途地域の制約があり、新たに施設等を作るのが難しい地域がある」等の規制条件や「高齢者の買い物環境を改善してほしい」といった指摘がみられた。
- 「働く場所づくりによる子育て世帯を中心とした移住・定住促進」や「買い物ができる場所を増やすこと等、暮らしの利便性の向上」を期待する意見がみられた。
- 職住近接という考え方に対しては、「洛西ニュータウンはベッドタウンであるため働く場所がなく、住民も近くに働く場所がほしいという意識もない」「働く場所が家から近いと嫌な人、仕事とプライベートを完全に分けたい人もいる」という意見がみられた。

(提案・アイデア)

- 「手芸や絵が得意な人が作品販売」「住宅地が多いので、介護や子育てなど地域に住んでいる人に着目したビジネス」, 「西京区でできた野菜等の農業作物を加工, 販売をする仕組み」
- 「テレワークの場所づくり」「販売のためのBOX 貸し」「空き家を使った起業・企業支援」
- 「事業者と行政が連携し, 商業施設や工場を区内に設置」「芸大跡地への企業誘致」
- 「小さなお店を表彰する制度」「ランチができる場所」「気軽に買い物ができる場所」

■ 豊かな自然環境の保全と環境にやさしいまちづくりの推進

○自然環境

(現状・課題)

- ・ 現在も「洛西大原野は自然環境が豊富なエリア」として認知されている。

(提案・アイデア)：意見なし

- ・ 「西京区の公園内に飲食店を作り、若者世代を増やして定住促進に繋げる」

○まちの美化活動

(現状・課題)：意見なし

(提案・アイデア)

- ・ 「ゴミを拾う意識付け(例：ゴミ拾いイベント)」
- ・ 「『花いっぱいのもちづくり』の推進」

○循環型社会

(現状・課題)：意見なし

(提案・アイデア)

- ・ 「物の大事さや使えるものは使うという意識付け」
- ・ 「新庁舎を環境にやさしいエコな庁舎に(例：中京区役所の屋上緑化、木材を使用した庁舎)」

○農業

(現状・課題)

- ・ 「筍は需要がある一方で、土入れが大変なため土入れをあきらめてしまい竹を放置している人がいる」ことや「農作物を育てる技術はあるが、高齢のため畑を縮小し、家族の分のみ作物している人がたくさんいる」という現状がある。
- ・ 「農業に携わる若手を育成することや、農業に関する地域資源を積極的にPRしていく」ことが必要であるという指摘が見られた。

(提案・アイデア)

- ・ 「筍や柿の年間を通して食べられるメニューや現地でしか食べられない特産品の開発」
- ・ 「子どもたちに筍掘り体験をさせて、地域への愛着等の醸成」
- ・ 「放置している竹林で、竹を提供する代わりに管理・土入れ等を任せる仕組みづくり」
- ・ 「農業の技術を持つ高齢の農家に畑作業を教える先生になってもらう」
- ・ 「規制緩和等を通して、新規就農を増やし農業だけで生活していける枠組みづくり」

■ 地域資源を活用したまちづくりの推進

○歴史・文化

(現状・課題)

- 「櫛原の宿場町」や「明智光秀（2020 年度大河ドラマ）ゆかりの場所」等の歴史的な資源が残っている一方、「地域の祭りが途絶えてきている（例：六斎念仏）」ことや「石垣や昔の城跡があるものの、あまり知られていない」といった課題が指摘された。
- 「観光資源ではない文化」や「西京らしい生活文化」の重要性に関する意見が見られた。

(提案・アイデア)

- 「地域と行政の力で祭りを復活したい」「西京区独自の文化（例：盆・正月の過ごし方）の発見」
 - 「地域資源の見える化にむけたイベント等の実施」「観光や移住定住に向けた歴史・文化の情報発信」
- 新庁舎に期待する施設・機能
- 「図書館の併設（カフェスペース設置，DVD の貸し出し）（例：洛西支所）」「自由に閲覧できる図書や区の資料，パンフレット等を配架した『まちライブラリー』や図書館の併設」

○観光

(現状・課題)

- 地域資源として、「西京区の古民家」「松尾大社周辺-鈴虫寺-月読神社の散歩コース」等歴史資源や歴史資源を活用した散策ルート等が設定されている。
- 宿泊機能において、「宿泊施設が少ない」「民泊に対する地域住民の反対」という意見がみられた。
- 情報発信において、「イベントや取り組みの情報が雑駁」「情報発信の多言語化，ユニバーサルデザインへの配慮」「西京区 PR 冊子の活用方法を検討する必要」「観光マップに西京区の場所や飲食店が掲載されていない」といった指摘がみられた。
- 法制度面において、「民宿は現在規制が厳しい」という意見がみられた。
- 観光資源・取組においては、「大原野は見るところはあるが食べるところがない」「西京区の西と東では周辺環境が全然違う。東の方は、嵐山に近い等で恵まれている」「西山の知名度が東山，北山に比べ低い」「観光等の拠点間の距離が遠い」「フジバカマ祭りやひまわりの開花イベント等の取り組みをおこなっているものの，地域にお金が落ちない」「筍掘りの体験は子供たちも喜んでくれる」「観光初心者やマス観光の観光客はマナーが悪い」という意見がみられた。

(提案・アイデア)

情報発信

- 「インスタ栄えするところ（例：古民家）」「伝承文化（例：大原野の誘蛾灯や田の虫送り）」「交通の便の良さ」「西京は玄人好みのイメージ。リピーターの関心をくすぐるキャッチコピー」
- 「阪急高架下に西京区の観光情報発信拠点の設置」「阪急沿線の駅に，西京区の情報発信冊子（例：西京時間）の設置」「桂駅に観光マップの設置，観光地までのバスの乗り継ぎガイド作成」「地元住民も観光客もアクセスしやすくカレンダーでイベントが一覧で見られるサイト」「統一感のあるサイン」

主体連携

- 「鉄道会社」「旅行会社、出版社」「テレビ」「西京区にゆかりのある有名人」
- 「京都駅にきた旅行客を桂駅に呼び込む」「松尾駅等からの誘客」
- 「阪急嵐山線でのたけにょん号（電車の塗装や電車の前方にたけにょんマーク）を走らせる」「嵐山線のラッピング電車」

観光施設・機能

- 「古民家をもっと発掘すべき」「観光スポットの発掘」「地域住民への穴場スポットの情報収集」
- 「筍取りやバーベキューなど筍の体験施設」「竹の道の整備（例：向日市，右京区）」「沓掛 IC に道の駅整備」「アスレチックやアウトドア等の観光施設整備」「芸大の跡地を利用して大きな道の駅の整備（丹後の魚，大原野の野菜，市内の伝統工芸品を販売）」「旧山陰街道の整備」「拠点を結んだ観光コースづくり（松尾大社，苔寺，浄住寺）」「人気のある施設（例：スターバックスコーヒー）の誘致」
- 「観光地になるような『見に行きたい区役所』（例：東京都庁の喫茶，軽食，飲み屋）」「ガラス張りの区長室（例：長野県）」「新庁舎の聖地化（聖地づくり）」
- 「阪急高架下における新鮮な野菜の販売」「農家が連携し『柿狩りまつり』の実施」「観光スポット間を巡るスタンプラリー」「特産品（大原野の野菜等）の販売スペース」「撃退した野生鳥獣はジビエ料理として提供」「西京区の名産を活かしたおいしい名物料理の開発」「地域ごとにマルシェや小さいお店を開店する『ミニ観光地』の点在」

観光戦略の視点

- 「時間の分散化を図り，空いている時間に西京区に来てもらう」「観光情報収集にInstagramが活用されるため，食べ物や観光地の写真が重要」「場所や季節による見どころづくり」「ブランド戦略（例：京阪鉄道の『おけいはん』）」「『観る』観光に加え，『食べる』観光（名産品や筍など），『買う』観光が必要」「洛西バスターミナル周辺の観光拠点化」
- 「観光について話し合う協議体や観光協会の組成」「観光を促進するための観光課の設置」

○スポーツ

（現状・課題）：意見なし

（提案・アイデア）

- 「西京区の中学校は全国的に駅伝が強いことから，中学校の練習コースをランニングコースとして情報発信」「高齢者向けの気軽に運動できる場所」「観光やスポーツの連動」

新庁舎に期待する施設・機能

- 「体育館の併設」「ジムやプールの併設（例：南区ヘルスピア）」「軽運動やダンスができる場」

○生涯学習

（現状・課題）：意見なし

（提案・アイデア）

- 「小学校の生活学習で実施される授業（地域の語り部から話を聞く）で大人が聴講」「移動図書館」

○大学等との連携

(現状・課題)

- 「やる気のある学生とそうでない学生がいるため、どのように働きかけるかが重要」
- 「京都大学桂キャンパスに企業が入っている」

(提案・アイデア)

- 「学生と連携した手作り市の開催」「大学生の巻き込み」
- 「京都大学桂キャンパスに入っている企業」「京大桂ベンチャープラザや京大イノベーションプラザとの連携」「連携による就業場所の創出」

■ 都市基盤の整備と公共交通体系の充実

○公共交通

(課題・現状)

- 「観光スポット間の交通機関が利用しにくく利便性が悪い」ことや「乗り換えが不便」「洛西エリアのバスのダイヤがバラバラ（毎時0分など統一されていない）」「市バスと民間のバスが同じ時間に同じコースを連なって走っていることがあり、分散できないか」といった指摘がみられた。

(提案・アイデア)

- 「マイカー抑制の取り組み」「観光地から少し離れた場所の駐車場へ案内し、公共交通機関や自転車の利用促進」
- 「観光シーズンの増便」「1日乗車券の均一区間を西京区内にも延伸」「バス停の名前を西京区の神社等わかりやすいスポット名」「シェアサイクルの活用」「レンタサイクルの乗り捨て拠点の整備」
- 「コミュニティバスの運行、市バスの新規ルート整備」「桂駅までの交通アクセスの利便性向上」

○道路環境

(課題・現状)

- 「西京は道が狭い。大原野地域は大型バスが通れない」といったことや「桂川東側、渡月橋、松尾橋における観光バスや観光客による観光シーズン時の渋滞とそれに伴う市バスの運行ダイヤの乱れ」が生じる等の意見が見られた。
- 「物集女街道（千代原口に向かって南行き）の渋滞」等の課題が指摘された。

(提案・アイデア)

- 「サイクリングロードの活用」「大原野、沓掛ICの活用」
- 「ニュータウン内歩道の再整備」

○河川等整備

(現状・課題)：意見なし

(提案・アイデア)

- 「空いているURや市営住宅、高速道路のIC、芸大跡地の活用」「駅前再開発」

○防災

(現状・課題)

- 「大原野は市街化調整区域であり規制が厳しい」といった指摘がされた。

(提案・アイデア)

- 「新庁舎に、災害の避難場所や避難拠点となる施設の設置」